

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 10 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009 年度～2012 年度

課題番号：21360303

研究課題名（和文） コンバージョン建築海外事例の開拓とデータベースの拡充および
デザイン手法の分析研究課題名（英文） Making Database of New Architectural Conversions Abroad by Design
Survey and Analyses on Their Design Methods

研究代表者

氏名 小林 克弘 (Kobayashi Katsuhiko)

首都大学東京・都市環境科学研究科・教授

研究者番号：80186733

研究成果の概要（和文）：

本研究は、世界各地の優れたコンバージョン事例の実地調査を通じて、コンバージョン建築に関する世界トップレベルのデータベースを構築し、デザイン手法の考察を通じて、コンバージョン建築に関する建築意匠的研究を発展させることを目的とする。本研究は4ヵ年計画であり、各年度共、海外事例調査を通じて、コンバージョンの実態の確認、関係者へのヒアリング、記録写真撮影、資料収集を行い、調査後、各地におけるコンバージョンの特徴の考察を行った。現地調査した全事例は、約400事例になる。多くのコンバージョン事例を開拓し、充実した研究成果発表を行うことができた。

研究成果の概要（英文）：

This study aims to make database of architectural conversions by design survey abroad and to analyze their design methods. The survey has been done during four years. In each year, field surveys and interviews with users were done to understand details of conversion. After investigation abroad, analyses of design methods in typical cases and consideration on the characteristics of conversion in various cities were made. During the study period of four years, totally approximate 400 works were surveyed and many unknown converted works could be found, producing fruitful research results.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	1,900,000	570,000	2,470,000
2010 年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2011 年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2012 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
総計	7,200,000	2,160,000	9,360,000

研究分野：工学

科研費の分科・細目：建築学

キーワード：建築史・意匠、コンバージョン、用途変更、転用、海外調査、ヨーロッパ、アジア

1. 研究開始当初の背景

応募者は2003年以降、世界各地の秀逸なコンバージョン事例に関する実地調査研究を継続し、これまで知られていなかった多量の事例を発掘した。その成果を2008年3月に「世界のコンバージョン建築」（小林克弘、三田村哲哉、他2名共編著、鹿島出版会）にまとめた。同書はイタリア、アメリカ、フランス、フィンランドの全般と、ドイツ及びオーストラリアの一部における、1990年代以降の多様なコンバージョン建築93事例に関する実地調査の成果で、近年の研究書の中では世界的にも、最も充実した研究の一つである。しかし同書の研究対象は、先述の国々に限定されているため、近年の状況を完全には網羅できていない。一方、この調査研究の過程で、これらの国以外の様々な都市でも、数多くのコンバージョン建築が存在することを確認しており、本研究を継続する必要性を強く認識するにいたった。

2. 研究の目的

本応募研究では、可能な限り調査対象を拡大しつつ、現時点でのコンバージョン建築に関する世界トップレベルのデータベースを構築し、それらのデザイン手法に関する考察に基づいて、コンバージョン建築に関する学術的調査研究を飛躍的に進歩させることを目的とする。

3. 研究の方法

本研究は4ヵ年計画であり、建築コンバージョンで特色ある成果をあげている海外諸国の事例収集および実地調査を、以下の研究手順を踏んで行った

(1)事例の発見・発掘（4月～6月） 事例は著名な建築作品とは限らないため、徹底した事前調査が必要となる。まず、各国で出版されている建築雑誌の内、コンバージョン事例を取り上げている記事について、1990年以降に出版されたものを徹底的に調べ、事例の抽出を行う。合わせて、単行本やインターネットなどからの情報を収集し、漏れのない事例収集を遂行する。

(2)実地調査事例の選定（7月～8月） 得られた資料を分析し、実地調査対象作品を選定し、調査許可の事前連絡や旅程の決定を行う。調査対象事例については、すでに発表されているモノグラフや先行研究に関する調

査を実施し、調査前にコンバージョンが実施される前の既存建築についての考察を行うておく。

(3)実地調査（9月または10月） コンバージョン建築の研究においては、コンバージョンの内容を正確に把握するために、建築の内外の写真撮影、既存建築の図面収集、関係者へのヒアリング、さらに必要な場合には実測調査等が不可欠である。これらの現地調査を研究代表者、研究分担者が分担して効率的に各作品の調査を実施する。

(4)実施調査結果のまとめ・考察（10月～3月） 実地調査において収集した資料とヒアリングで得た学術情報に基づいて、調査対象事例に関して、各事例の概要のとりまとめ、各地におけるコンバージョンの特徴の考察、既存建築が有する建築造形、空間構成、造形理念など建築の根本に関わる部分の考察とコンバージョン・デザインの特性を分析する。併せて、研究成果発表の準備を行う。

調査対象国は、1年目はイギリス、スペインを対象とし、2年目は、デンマーク、スウェーデン、スイス、オーストリア、中国・上海、3年目は、ノルウェー、ベルギー、オランダ、ドイツ、最終年度は、香港、シンガポール、マレーシアであり、それぞれの国・都市において充実した現地調査を行った。

4. 研究成果

上記調査方法に基づいて、現地調査した全事例は、約400事例になる。イギリス、スペイン、デンマーク、スウェーデン、スイス、オーストリアなどの西欧諸都市における新たなコンバージョン事例の開拓を成し得た。加えて、上海、香港、シンガポール、クアラルンプールなどのアジアの諸都市においては、それぞれの都市の歴史や発展状況を背景とする、欧米と異なるコンバージョン事例の実際を開拓ことができた点は大きな研究成果であった。これらのコンバージョン事例を下記の研究成果発表において、データベース化しつつ、コンバージョンのデザイン手法の分析を行った。

4年間の研究成果発表は大変充実したものとなることができた。まず、成果全体を、小林克弘、三田村哲哉、角野渉編著「建築転生世界のコンバージョン建築 II」鹿島出版会、2013年3月の出版にまとめた。また、この4年間に、審査付論文4編、建築学会大会口頭発表23編（6編は発表予定・投稿済み）の形で研究成果を広く公表することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計4件)

1) 角野渉, 小林克弘, 三田村哲哉「コペンハーゲンにおけるコンバージョン建築のデザイン手法と都市的背景」日本建築学会計画系論文集, Vol. 77, 678号, pp.1983-1989, 2012年8月

2) Sho KADONO, Katsuhiko KOBAYASHI, Tetsuya MITAMURA, A Study on Design Methods of Recent Architectural Conversion in New York, The 9th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, Korea: Architectural Institute of Korea, A-11-2, Nov. 2012

3) 三田村哲哉, 1910年アントウェルペン都市圏改造国際設計競技1等案-アンリ・プロストによる建築と都市計画に関する考察その1-, 日本建築学会計画系論文集, Vol. 75, 658号, pp. 2999-3004, 2010年10月

4) 三田村哲哉, ランスのアール・デコ、建築史学、53号、建築史学会、pp. 84-94、2009.

〔学会発表〕(計17件)

1) 岡田直樹, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岡崎真也, 岩井一也, 佐藤慎平, 津田美由貴, 藤井悠太, 「オランダにおけるコンバージョン建築の調査研究(その1)-アムステルダムからの転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 553-554), 2012年9月12日、名古屋大学

2) 佐藤慎平, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岡崎真也, 岩井一也, 岡田直樹, 津田美由貴, 藤井悠太, 「オランダにおけるコンバージョン建築の調査研究(その2)-ロッテルダム, デルフト, ハールレム等の転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 555-556), 2012年9月12日、名古屋大学

3) 藤井悠太, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岡崎真也, 岩井一也, 岡田直樹, 佐藤慎平, 津田美由貴, 「ベルギーにおけるコンバージョン建築の調査研究(その1)-公共系・商業系・居住系施設等からの転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 557-558), 2012年9月12日、名古屋大

学

4) 岩井一也, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岡崎真也, 岡田直樹, 佐藤慎平, 津田美由貴, 藤井悠太「ベルギーにおけるコンバージョン建築の調査研究(その2)-産業系施設からの転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 559-560), 2012年9月12日、名古屋大学

5) 岡崎真也, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岩井一也, 岡田直樹, 佐藤慎平, 津田美由貴, 藤井悠太「ノルウェーにおけるコンバージョン建築の調査研究(その1)-公共系・商業系・居住系施設等からの転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 561-562), 2012年9月12日、名古屋大学

6) 津田美由貴, 小林克弘, 三田村哲哉, 角野渉, 岡崎真也, 岩井一也, 岡田直樹, 佐藤慎平, 藤井悠太「ノルウェーにおけるコンバージョン建築の調査研究(その2)-産業系施設からの転用事例にみられるデザイン手法-」日本建築学会2012年度大会(東海)(学術講演梗概集, pp. 563-564), 2012年9月12日、名古屋大学

7) 小林克弘, 三田村哲哉, 他2名、上海におけるコンバージョン事例の調査研究(その1)-商業系施設、居住系施設、公共系施設からの転用-, 日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

8) 角野渉, 小林克弘, 三田村哲哉, 他1名、上海におけるコンバージョン事例の調査研究(その2)-産業系施設からの転用におけるデザイン手法-, 日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

9) 佐藤慎平, 小林克弘, 三田村哲哉, 他7名、デンマークにおけるコンバージョン建築事例の調査研究(その1)-産業系施設からの転用におけるデザイン手法-, 日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

10) 百瀬雄介, 小林克弘, 三田村哲哉, 他7名、デンマークにおけるコンバージョン建築事例の調査研究(その2)-公共・文化・事務所・軍事系施設からの転用にみられる特徴-, 日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

11) 関口勝平、小林克弘、三田村哲哉、他7名、スウェーデンにおけるコンバージョン建築事例の調査研究(その1)ーストックホルムにおける公共・産業系施設からの転用ー、日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

12) 河野泰造、小林克弘、三田村哲哉、他7名、スウェーデンにおけるコンバージョン事例の調査研究(その2)ーヨーテボリ・マルメにおける居住・公共・産業系施設からの転用ー、日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

13) 小清水一馬、小林克弘、三田村哲哉、他7名、ウィーンにおけるコンバージョン建築事例の調査研究ー大規模施設の転用におけるデザイン手法ー、日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

14) 岡崎真也、小林克弘、三田村哲哉、他7名、スイスにおけるコンバージョン建築事例の調査研究ー近年の傾向及び代表的事例にみるデザイン手法ー、日本建築学会2011年度大会(関東)、2011年8月25日、早稲田大学

15) 小林克弘、三田村哲哉、角野渉、竹村祐典、水口朝博、スペインにおけるコンバージョン事例の調査研究ー転用における改修程度から見たデザイン手法ー、日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸) pp.831-832、2010年9月11日、富山大学

16) 竹村祐典、小林克弘、三田村哲哉、角野渉、水口朝博、イギリスにおけるコンバージョン建築事例の調査研究(その1)ー近年の傾向および公共・事務所・居住施設からの転用におけるデザイン手法ー、日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸) pp.833-834、2010年9月11日、富山大学

17) 水口朝博、小林克弘、三田村哲哉、角野渉、竹村祐典、イギリスにおけるコンバージョン建築事例の調査研究(その2)ー産業系施設からの転用におけるデザイン手法ー、日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸) pp.835-836、2010年9月11日、富山大学

〔図書〕(計1件)

小林克弘、三田村哲哉、角野渉 編著「建築転生 世界のコンバージョン建築 II」鹿島出版会、2013年3月30日、181頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小林 克弘 (Kobayashi Katsuhiro)
首都大学東京・都市環境科学研究科・教授
研究者番号：80186733

(2) 研究分担者

三田村 哲哉 (Tetsuya Mitamura)
兵庫県立大学・環境人間学部・准教授
研究者番号：70381457